

日本森林ボランティア協会による 間伐作業が行われました

平成 27 年 4 月 24 日～26 日、日南町菅沢の YMCA 呼子高原センター・キャンプ場にて、NPO 法人日本森林ボランティア協会（滝口敏行会長）による、春の森林ボランティア活動が行われました。日中の作業を終えてからの夕方からの交流会では、地元の古民家で体験型民宿を運営されている宮本夫妻も訪れ、中山間地域の地元の方と都市部で森林に関心を持つ方との貴重な交流の場となりました。



間伐作業現場の様子

4 月 25 日、作業現場に向かいます。今回の参加者は 22 名、平均年齢は 50 代後半になるとの事です。毎年作業に来られる方も、今年初めて参加される方もいました。チーム毎に責任者の指揮のもと、作業が行われました。会長の「森林作業は力だけの作業ではない、倒す方向、木を伐る方向を考えて次の作業をしやすくすることが大事。頭を使う仕事だよ」との言葉が印象的でした。

NPO 法人日本森林ボランティア協会の設立（協会 HP より引用）

- ①自主的に森林づくり（森林整備）に参加し行動する集まりである。
- ②その活動を通して学んだことを広く市民に伝え、市民参加の森林づくりの輪を広げていく役割を担う。
- ③森林の整備は、これまでのように山村の人々のみ押しつけるだけではなく、その恩恵を最も多く享受している都市住民も、山村の人々や森林林業関係者、行政関係者たちと協力して行う。
- ④自分たちの能力で出来る活動から取り組まなければならない都市住民の責務である。

ベトナム人研修生（第 2 期生）が（株）オロチにて活躍中

日南町の田野川の森林木材団地で操業している㈱オロチでは、現在ベトナムからの研修生 3 人が加工技術の習得をしています。

今回、工場で指導している方からお話を伺いました。

研修生の受け入れは、昨年 4 月から始まりました。第 1 期生は今年 3 月に研修期間を満了して帰国。現在は 2 期生の 3 人（昨年 10 月と本年 4 月より研修開始）が日南町にて生活し、工場へ通っています。工場では先輩の指示を受け、機械について学んでいます。

現在では簡単な作業を自分達でこなせるくらいになりました。日本での研修は、彼らがベトナムに帰国後も、技術や経験や人的つながりとしても大きな財産となります。オロチと日南町での仕事と生活を通して、自分たちの目標の実現に向けて頑張ってください。



トウアン氏（左）、タン氏（中央）、ラム氏（右）



工場の作業の様子